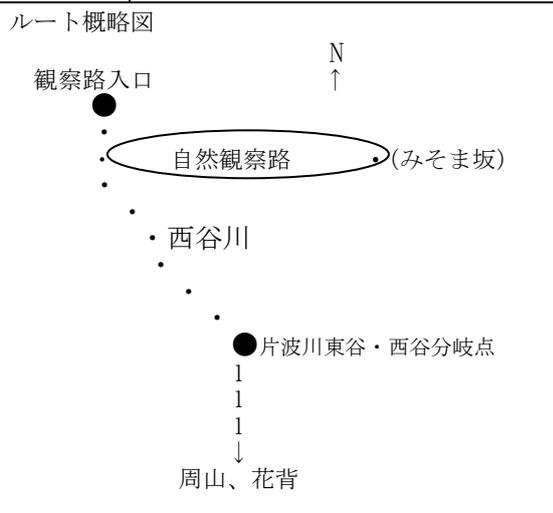


山行報告書

京都田辺山友会

報告者 山下

山名	片波川源流 (京都府自然環境保全地区)	山行名	平安杉を訪ねる
ルート	新田辺一鞍馬一大布施-477号-片波川(自然観察路)-477号-周山街道-新田辺		
山行日	2014. 11. 22 (土)	天候	晴
参加者	リーダー： 山下 サブリーダー：若林 男性：14名 赤松、秋月、小川、梅沢、北村、北川、後藤、坂部、平松、西川、宮野、小山 (一般、元会員) 女性：9名 伊藤、上田美織、江平、倉光、河野、西上、平松、山田、吉野 合計：23名		



コースタイム					
地名		時：分	地名		時：分
松井山手			自然観察路	着	13:20
	発	6:50	入口	発	
片波川東・西分岐点	集	9:40	片波川東・西分岐点	着	14:20
	発	10:00		発	14:30
自然観察路入口	着	11:15	(周山街道)		
	発				
東尾根広場 (平安杉)	着	11:55	松井山手	着	16:50
	発	12:35			
みそま坂 (折り返し)	着	12:45		着	
	発	12:50		発	

京都新聞で「平安杉」の存在を今年の春に知り、是非行きたくなる。早速、談風会で皆さんに紹介したところ、春は芦生近辺はヒルがいるので、秋頃に行きましようということで、11月22日のいい夫婦の日となるも夫婦の参加はナシ。計画にあたっては、登山の本等では紹介されていない場所ゆえ、ネットや地元の土木事務所・ウッディー京北(森林ガイドの本部)等でいろいろな情報を入手し、準備した。2-3年前の大雨で林道の崩落場所があり、車では近場まで行けないことが解る。一周間前の天気予報では降水確率は40%だったが段々いい方向になり、当日は朝から雲一つない絶好の登山日よりとなり、風もほとんどなし。夏山以外は天気男を継続中。絵のモチーフがあふれているからと絵描きさんも久々の参加となる。

手前の片波川の東谷・西谷分岐点から歩きだした。初めての場所ゆえ、皆さんにも1/2.5万の地図も用意し、林道での自分の位置など確認に地図に助けられた。マイクロバスがうまくUターンできる場所にも恵まれた。

今回の山行はピークハントが目的ではないので写真撮りや自然とのふれあい等は出来るだけ自由にのんびりと秋を楽しめるようにと宣言した。天気にも仲間にも恵まれ、杉の大木群に命と精気を頂きながら落葉におおわれた「自然観察路」で最高の時間を楽しめた。道路状況が以前より悪くなっているので、山は我らグループだけの貸切だった。胴まわり15mの「平安杉」のある東尾根広場での昼食時間や木漏れ日の下での歩きや舞い降りる枯葉の風情も最高の時間だった。半年前から楽しみがようやく実現できた。歩数約1.5万歩で、物足りない方もいたであろう。一般道での大勢での車山行だったので、トイレに時間が掛るのは難点だった。ヒヤリハット ありません。

杉の大木「平安杉」の鑑賞ハイク感想

後藤 正道

後藤 正道

今日は、屋久島の縄文杉にも引けを取らない杉の大木が多く残る「平安杉群」を見に行く。ここは右京区京北町・桂川の支流である片波川源流にあり、自生する見事な杉の大木群を環境保全林の指定をうけて大切に守っている貴重なエリアです。

この杉達は、悠久の昔からここに自生し「平安の麻呂の時代」から、これからも、まだまだ命を育み生き続けていくのた考えると。何ともすげえなあ〜。

参加の諸兄は「靈氣」をいただいたよと、里山にもこんなに神秘的で神聖なところがあるもんだと、その感激を色々と述べてあっちゃいました。

多くのハイカーが遠くから俺たちを見に来てくれているのではないかと。俺たちは「まだまだ頑張らなくちゃ〜!!」と皆で声掛けあって、励まし合っているかのようにも見て取れた。また、市民文化祭の写真展での、あの「我らも追いかけてよう!80才を過ぎた登山家を」の名タイトルをふと思い出していた。

我は「なんとちっちゃいなあ〜」少しはこう「でっかくあやかりたい」と思う有意義な気持ちを頂いての下山でした。

だが、周山スーパー林道が長い年月をかけて全線開通はしものの、昨年、今年の大雨で嵐山の渡月橋が大水に見舞われたように、源流域のこの付近の山や沢は繰り返される大雨で土砂崩れ被害が甚大です。

元に戻るには相当の時間がかかるように思量されて残念です。

CL、SL、参加の皆様大変お世話になりました。有難うございました。

また、南丹市美山町と京都市左京区の行政界にある佐々里峠のピークから、芦生演習林トロッコ道・灰野へのルートから分岐する、小野村割岳への尾根筋にも多くの「杉の大木群」が残されているところがあります。

「杉の大木に魅せられて」

の第2弾をぜひやったださあ〜い。

